

メイラフックピンネイル



手術手技書

2018年12月 Ver.3

 **メイラ** 株式会社

[目 次]

P2 製 品 仕 様

P3 術 前 準 備

- 1.インプラントの準備
- 2.ターゲットデバイスの取り付け
- 3.器械類の勘合確認

P5 手 術 手 技

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. ネイル挿入点の決定 | 11. フック叩き出し |
| 2. 近位のリーミング | 12. 骨折部の圧迫 |
| 3. ネイルの挿入 | 13. セットスクリューの設置 |
| 4. 骨頭へのガイドピン刺入 | 14. フックピンキャップの取り付け |
| 5. フックピンサイズの決定 | 15. 遠位ドリリング準備 |
| 6. 骨頭のリーミング | 16. 遠位ドリリング、スクリューサイズ決定 |
| 7. フックピンの挿入準備 | 17. ディスタールスクリュー挿入 |
| 8. フックピンの挿入 | 18. ターゲットデバイス取り外し |
| 9. フックピンの固定 | 19. エンドキャップの設置 |
| 10. フック叩き出し準備 | 20. 設置完了 |

P12 抜 去 方 法

- | | |
|------------------|------------------|
| 1.エンドキャップの抜去 | 6.フックピンの抜去 |
| 2.セットスクリューを締め付ける | 7.ネイル抜去器の取り付け |
| 3.フックピンキャップの抜去 | 8.ディスタールスクリューの抜去 |
| 4.フック引き込み | 9.ネイル本体の抜去 |
| 5.セットスクリューを緩める | |

P15 インプラント / 器 械 一 覧

P17 器 械 類 に 付 加 さ れ た 目 盛 り の 説 明

P18 オ プ シ ョ ン 器 械 の 説 明

P19 取 り 外 し 用 ス パ ナ の 使 用 方 法

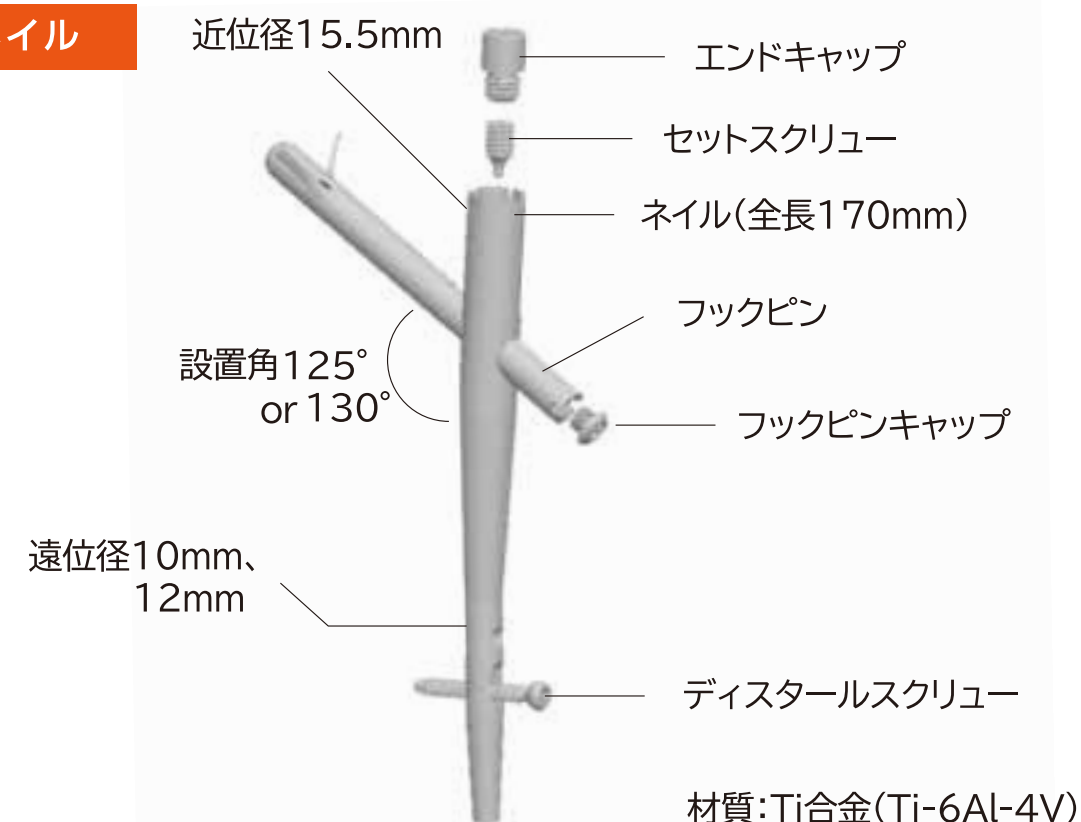
P21 使 用 上 の 注 意

[製品仕様]

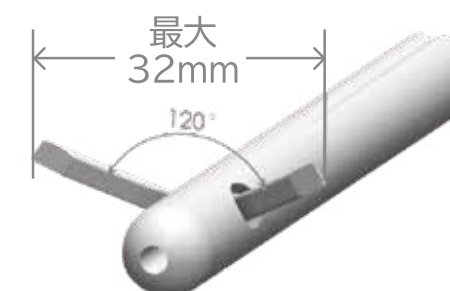
適応症例 大腿骨近位部骨折

(大腿骨頸基部、転子部及び転子間骨折)

ネイル



フックピン



フックピン径:10.5mm
フックピン長:70~110mm(5mm刻み)
フック厚さ:1.5mm
フック幅:3mm

[術 前 準 備]

1.インプラントの準備

トルクスドライバーを用いて選択したネイルにセットスクリューをセットする。(図1)

器械的ポイント

- セットスクリューを深く入れ過ぎるとネイル内でフックピンドリルと干渉する恐れがあるため、セットスクリュー挿入後に先端が出ていないことを確認して下さい(螺合目安:1~2回転)。

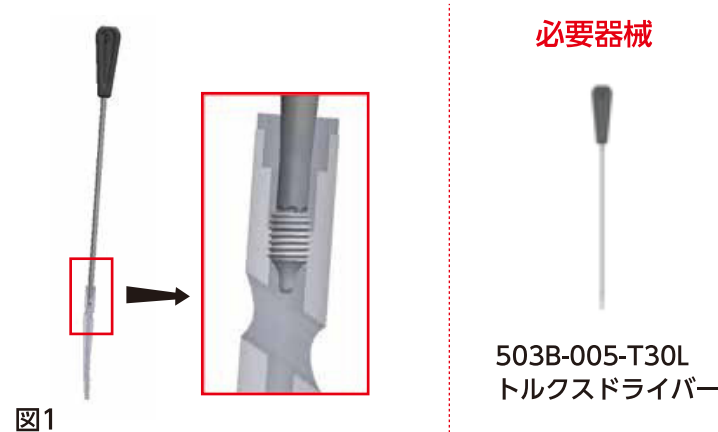


図1

必要器械

503B-005-T30L
トルクスドライバー

2.ターゲットデバイスの取り付け

ネイル保持スクリューで、選択したネイルとターゲットデバイスを一体化する。(図2a,2b)

器械的ポイント

- ターゲットデバイスとネイルは4つの溝により1方向のみ取り付けられます。(図2c)



図2a

図2b

図2c

必要器械



503B-007-080
六角ドライバー

568B-012
ネイル保持スクリュー

568B-011
ターゲットデバイス

3.器械類の勘合確認

選択したネイルの頸体角に合ったホールにイントロデューサスリーブを通し、ターゲットデバイスの固定用ノブを時計回りに回して固定する。(図3a)

イントロデューサスリーブ越しにフックピンドリル(バックアップ用)を挿入し、ネイルの穴を貫通することを確認する。(図3b,3c)

確認後、イントロデューサスリーブとフックピンドリル(バックアップ用)を外す。

注意

- 体内に挿入する前に必ず行って下さい。
- フックピンドリル(バックアップ用)がネイルの穴と過度に干渉する場合は、ターゲットデバイス内でネイル保持スクリューが緩んでいることが考えられます。その際は、ネイル保持スクリューを締め直し、再度確認を行って下さい。
- フックピンドリル(バックアップ用)がネイルの穴内で干渉する場合は、セットスクリューと干渉していることが考えられます。セットスクリューを深く入れ過ぎている可能性がありますので、その際はセットスクリューの深さを調整し、再度確認を行って下さい。

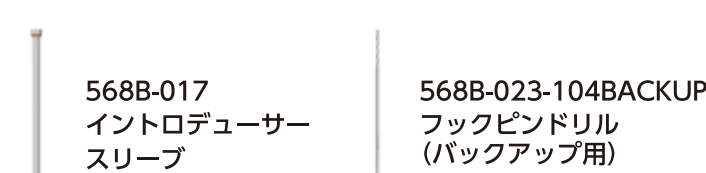


図3a

図3b

図3c

必要器械



568B-017
イントロデューサ
スリーブ

568B-023-104BACKUP
フックピンドリル
(バックアップ用)

[手 術 手 技]

1.ネイル挿入点の決定

リーマススリーブ、マルチホールトロカールを用いてガイドピンをネイル挿入点に刺入する。(図1a,1b)

挿入点の微調整を行う際はマルチホールトロカールを使用する。(図1c)

器械的ポイント

- マルチホールトロカールはリーマススリーブに押し込むことで連結します。
- マルチホールトロカールは中心穴を基準に4つの偏心させた穴が設けてあります。微調整したい移動量に合った穴を移動させたい方向に持って行き、その穴に追加でガイドピンを挿入する事で挿入点の微調整が行えます。(図1c)

オプション手技

- ガイドピンの刺入にはガイドワイヤハンドルを使用することが可能です。(図1d)

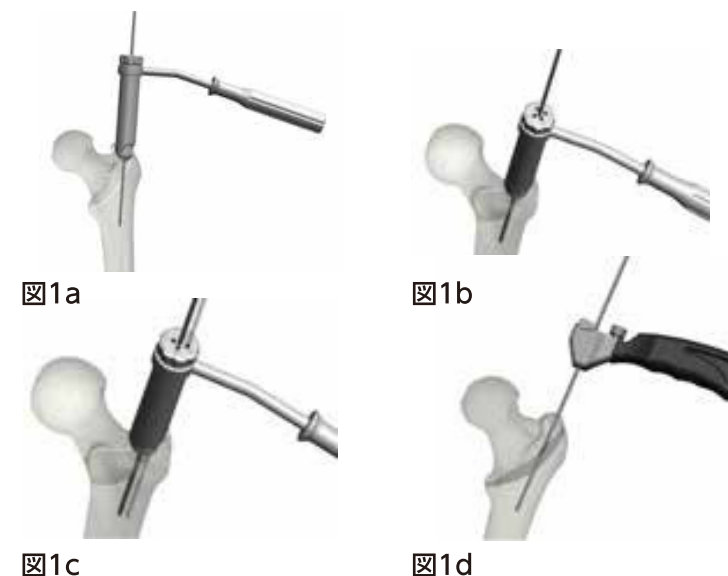


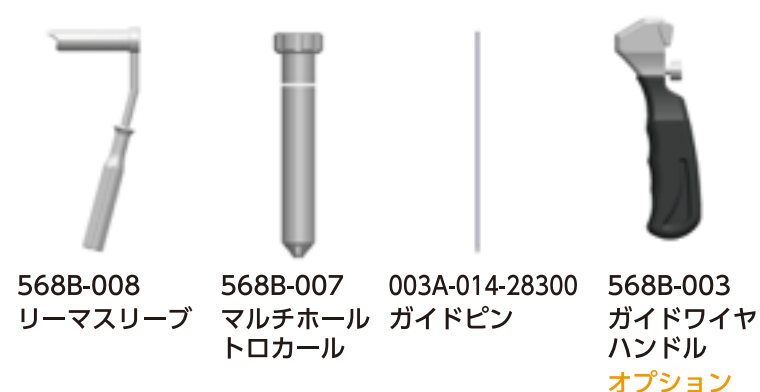
図1a

図1b

図1c

図1d

必要器械



568B-008
リーマススリーブ

568B-007
マルチホール
トロカール

003A-014-28300
ガイドピン

568B-003
ガイドワイヤ
ハンドル
オプション

2.近位のリーミング

クラウンリーマで近位をリーミングする。(図2a)

オプション手技

- リーミングにはワンステップコニカルリーマの選択も可能です。(図2b)
- 開孔位置をフリーハンドで決めたい場合はオウルシャフトとワンタッチハンドルを組み立てて使用することが可能です。(図2c)

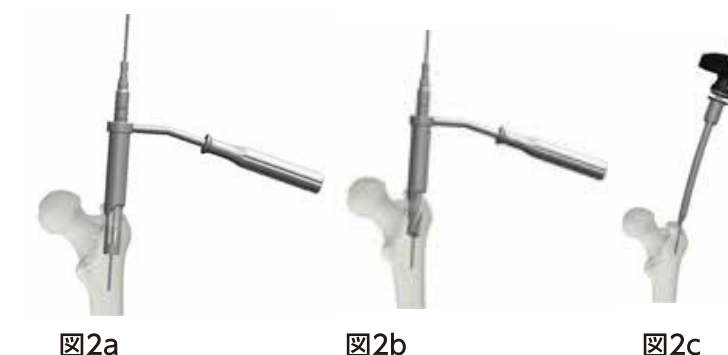
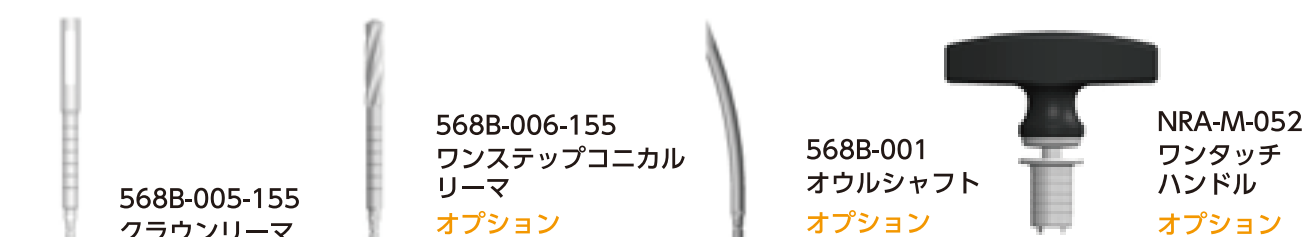


図2a

図2b

図2c

必要器械



568B-005-155
クラウンリーマ

568B-006-155
ワンステップコニカル
リーマ
オプション

568B-001
オウルシャフト
オプション

NRA-M-052
ワンタッチ
ハンドル
オプション

3. ネイルの挿入

ターゲットデバイスに取り付けたネイルを挿入する。(図3a)
挿入が多少困難な場合はネイル打込器とスロット付きマレットを用いて挿入する。(図3b)

器械的ポイント

- ネイル打込器はインパクト面が外側に向く方向でターゲットデバイスにはまります。(図3b)

遠位髓腔が狭く挿入が困難な場合はガイドワイヤ、フレキシブルリーマを用いて遠位をリーミングした後、再度挿入を試みる。(図3c)

オプション手技

- フレキシブルリーマでリーミングを行う際にフレキシブルリーマの方向を調整したい場合には、プッシャーシャフトとワンタッチハンドルを組み立てて使用することが可能です。(図3d)

必要器械



4. 骨頭へのガイドピン刺入

赤色の手術器械による操作

選択したネイルの頸体角に合ったホールにガイドピンスリーブと一体にしたイントロデューサスリーブを通し、ガイドピンスリーブ先端を外側皮質骨面に当てる。(図4a)
その後、イントロデューサスリーブ先端斜めカット部を外側皮質骨面に合わせながら骨面に当て、その状態でターゲットデバイスの固定用ノブを時計回りに回しロックする。(図4b)
最後にガイドピンを適切な位置に挿入する。(図4c)

医学的ポイント

- ガイドピン先端を骨頭中央軟骨下骨ギリギリの位置に来るように刺入することを推奨します。(図4c)

オプション手技

- ターゲットガイドとガイドピンを使用し、正面像、側面像に合わせて回旋させ、ガイドピン刺入位置の目安を知ることが可能です。(図4d,4e)

必要器械



5. フックピンサイズの決定

赤色の手術器械による操作

フックピンルーラーを用いてガイドピン刺入長さを測定する。(図5a)
測定値より適切なフックピンのサイズを決定する。

器械的ポイント

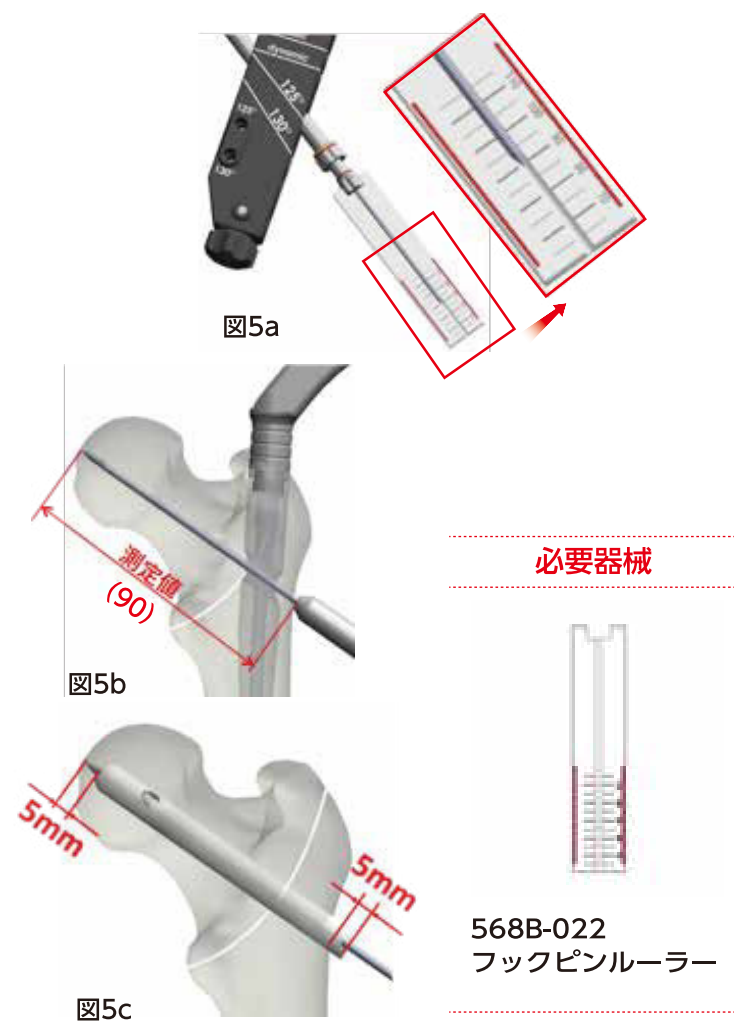
- 測定値は骨頭内のガイドピン先端から外側皮質骨面までの距離を示します。(図5b)

医学的ポイント

- フックピン先端は概ね骨頭頂部より5～10mmの位置に来ることを推奨します。

器械的ポイント

- 測定値通りのフックピンを選択した場合、フックピン先端をガイドピン先端より5mm手前に位置すると、外側皮質骨面からフックピン尾側端が5mm骨外に出ることになります。(図5c)



6. 骨頭のリーミング

赤色の手術器械による操作

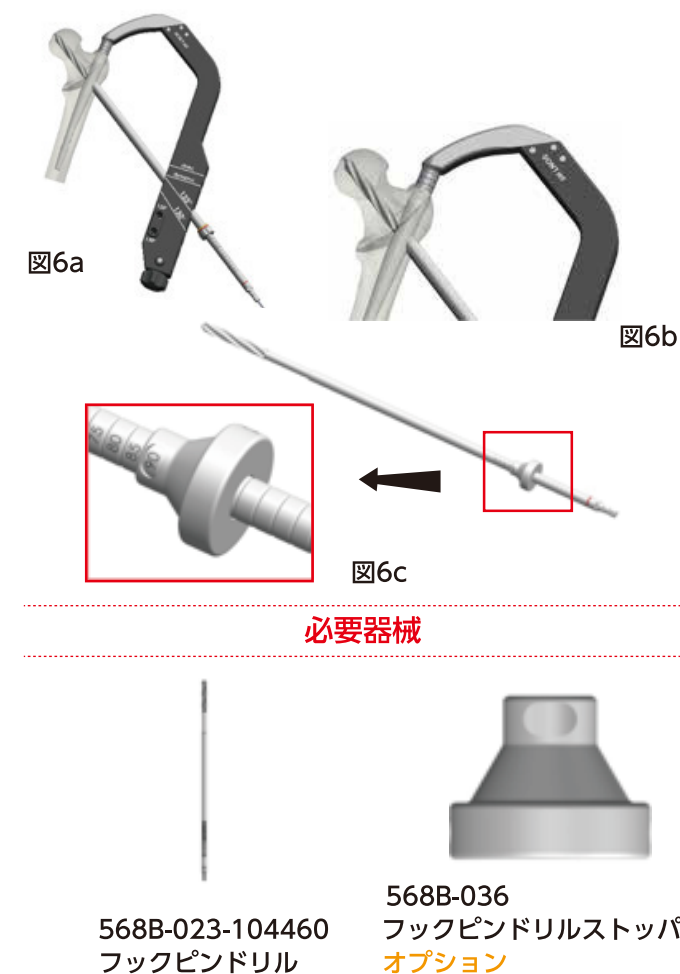
イントロデューサスリーブ越しにフックピンドリルを用いてリーミングする。(図6a,6b)

注意

- フックピンドリルがネイルの穴と過度に干渉する場合は、ターゲットデバイス内でネイル保持スクリューが緩んでいることが考えられます。その際は、再度ネイル保持スクリューの締め直しを行って下さい。

オプション手技

- リーミング深さの目安を知りたい場合はフックピンドリルストッパをフックピンドリルの規定位置に取り付け使用することが可能です。(図6c)



7.フックピンの挿入準備

黄色の手術器械による操作

位置決めピンをアウターイントロデューサーに連結する。この時アウターイントロデューサーのナットを反時計回しに回し手前に位置しておく。(図7a)
その後、フックピンとアウターイントロデューサーを組み合わせ、ロックスリーブにて一体化する。(図7b)
その際、フックピンの溝とアウターイントロデューサーのマーキングが合っている事を確認する。(図7c)

注意

- フックピンの溝とアウターイントロデューサーのマーキングが一致していることを必ず確認して下さい。一致していないとフックが適切な方向(上方)に出ません。

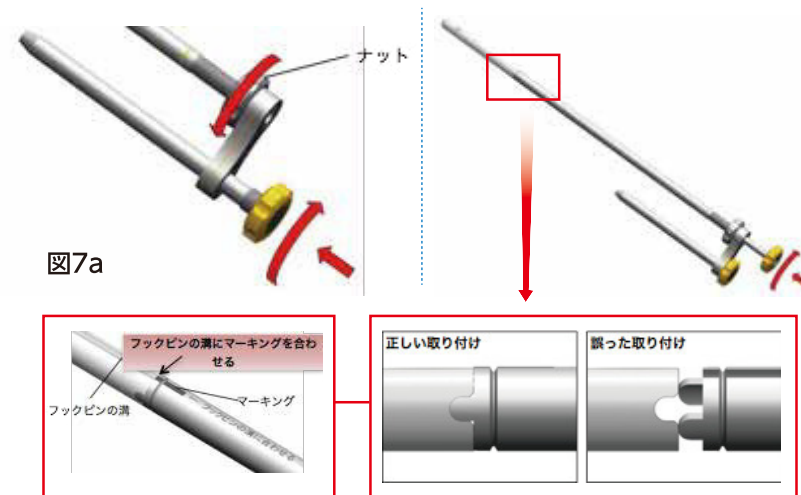


図7a

図7b

必要器械



568B-024
アウターイントロデューサー

568B-025
位置決めピン

568B-026
ロックスリーブ

8.フックピンの挿入

黄色の手術器械による操作

7で一体化したフックピンをガイドピンに通しながらイントロデューサースリーブ越しにネイル内に挿入する。(図8a)
手で入れにくい場合はフックピン打込器を取り付け(図8b)、スロット付きマレットを使用して挿入する。(図8c)

注意

- フックピン打込器を取り外す際にロックスリーブが緩む場合があります。ロックスリーブを取り外した後にロックスリーブの緩みがないか、必ず確認を行って下さい。

注意

- フックピンの挿入時にガイドピンと一緒に動いてしまう場合は一度ガイドピンを抜いてから再度挿入をし直して下さい。

器械的ポイント

- フックピン打込器及びスロット付きマレットを用いても挿入が困難な場合は、一体化したフックピンを取り外し、フックピンドリル(バックアップ用)で再度リーミングした後、フックピンの挿入を試みて下さい。

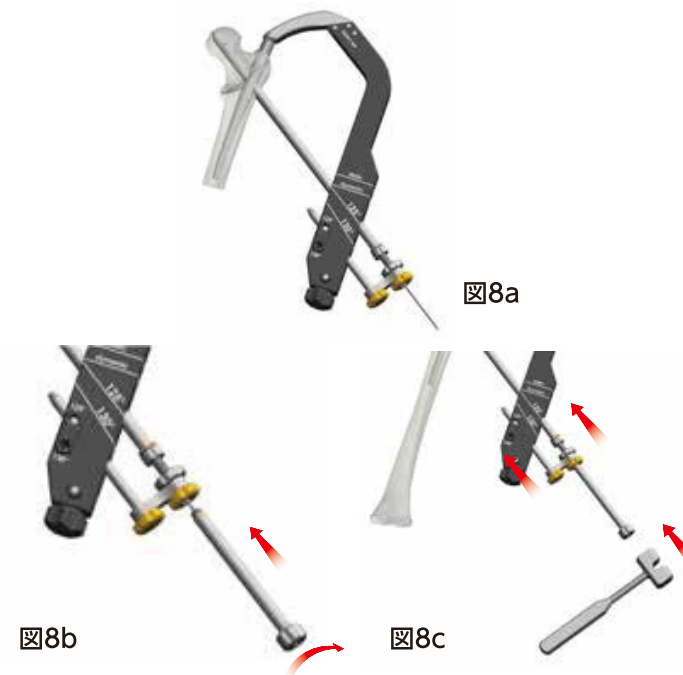


図8b

図8c

必要器械



568B-031
フックピン打込器

568B-014
スロット付きマレット

568B-023-104BACKUP
フックピンドリル
(バックアップ用)

9.フックピンの固定

黄色の手術器械による操作

フックピン打込器及びガイドピンを抜去する。(図9a)
ターゲットデバイスノブを選択したネイルに合ったホールに時計回りに回して挿入し、位置決めピンを固定する。(図9b,9c)
これにより間接的にフックピンが固定される。

注意

- フックピンの叩き込みにより、フックピン打込器とロックスリーブが固着し取り外しができなくなる場合があります。その際は、取り外し用スパナを使用して下さい。

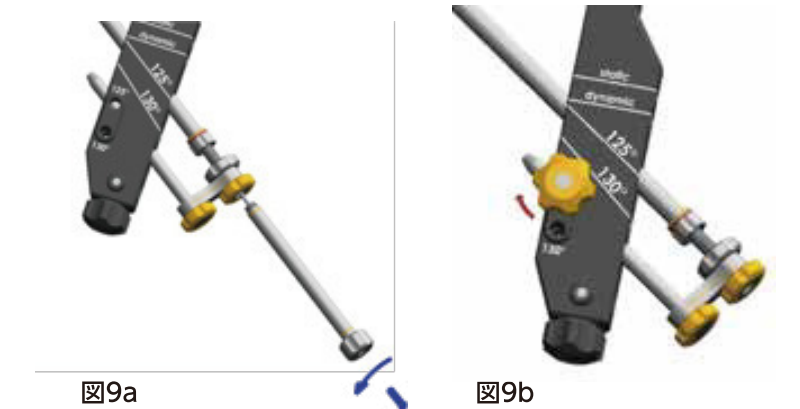


図9a

図9b



図9c

必要器械



568B-010
ターゲットデバイスノブ

10.フック叩き出し準備

青色の手術器械による操作

インナーインパクトをロックスリーブ内に挿入し、時計回りに回すことでフックピン内のフック部分に連結する。(図10a)
スライディングハンマーを通したスライディングガイドをインナーインパクトに装着する。(図10b)

注意

- 過度の締め付けはフックピン内のフック部分の回旋に繋がりますので行わないようにして下さい。フック部分がフックピン内で回旋するとフック部が損傷し、骨頭を固定できなくなる危険性があります。ただし、インナーインパクトの連結が不十分だと折損に繋がる可能性があるため、インナーインパクトが着座した感触があるまで確実に回し込んで下さい。

- インナーインパクトの連結前にロックスリーブが緩んでいないか必ず確認して下さい。

器械的ポイント

- フック部分の回旋を防止するため、インナーインパクトノブは指先で掴んで回すようにして下さい。(図10c)ノブを掌で掴んで回す(図10d)と過度にトルクがかかり危険です。

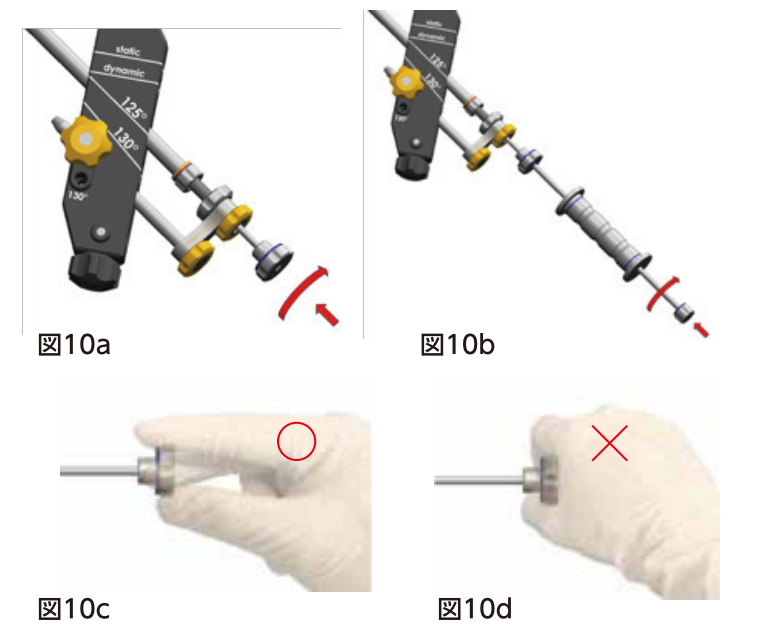


図10a

図10b

図10c

図10d

必要器械



568B-027
インナーインパクト

568B-033
スライディングハンマー

568B-034
スライディングガイド

11.フック叩き出し

青色の手術器械による操作

注意

- イメージによりフックが適切に2本出ているか確認を行って下さい。適切に出ていない場合はインナーピンが正しい位置にない状態です。フックピンの入れ替えを行って下さい。

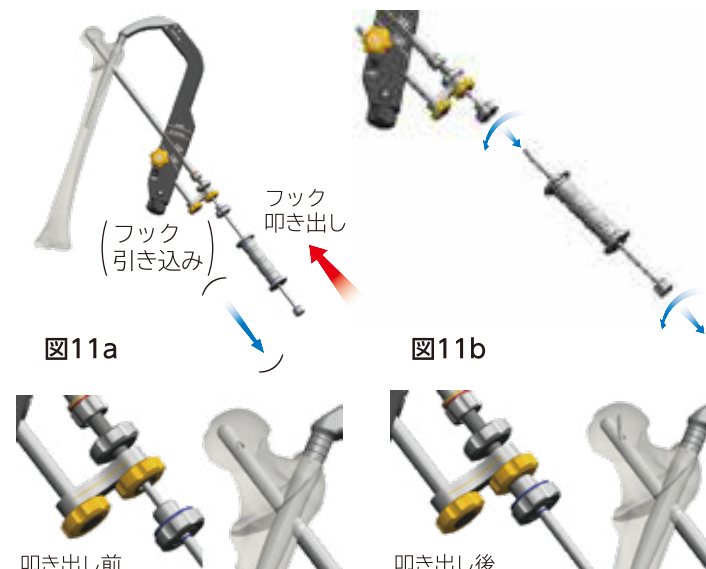
注意

- イメージによりフックの適切な突出量を確認して下さい。フックが出過ぎている場合はスライディングハンマーを逆方向にスライドさせ、フックの引き戻しを行って下さい。

器械的ポイント

- インナーインパクターがロックスリーブに座当たりした時がフックの最大突出量になります。

スライディングハンマーをスライドさせ、フックの叩き出しを行う。(図11a)
フックの叩き出しが完了したらインナーインパクター、スライディングガイド及びスライディングハンマーを取り外す。(図11b)



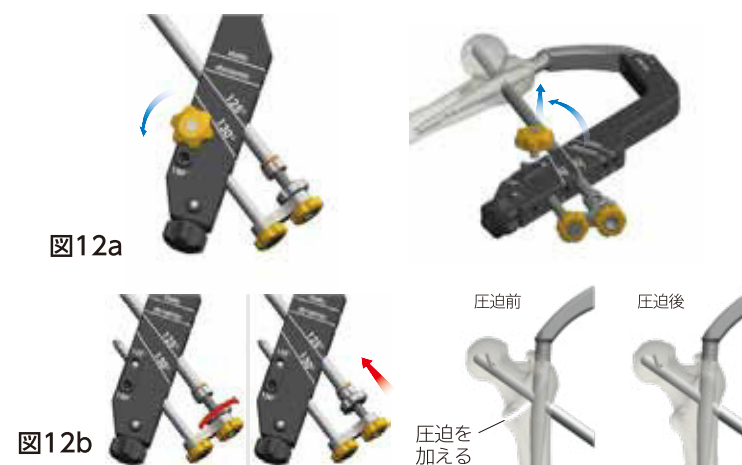
12.骨折部の圧迫

黄色の手術器械による操作

ターゲットデバイスノブを外す。(図12a)
アウターイントロデューサーのナットを時計回りに回し、骨折部に圧迫を加える。(図12b)

器械的ポイント

- アウターイントロデューサーのナットがイントロデューサースリーブを押すことで骨折部に圧迫が加わります。



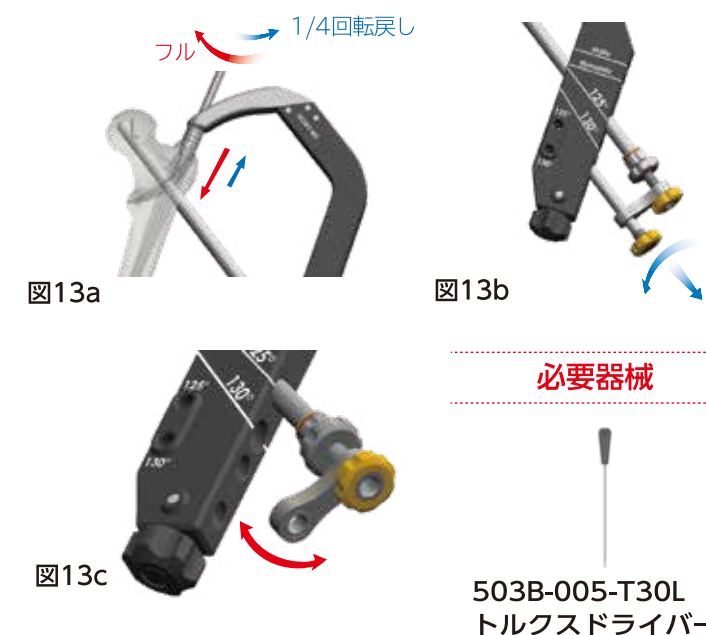
13.セットスクリューの設置

黄色の手術器械による操作

トルクスドライバーでセットスクリューを最大限締め付けた後、1/4回転緩める。(図13a)
位置決めピンを取り外す。(図13b)
アウターイントロデューサーが回転しないこと(セットスクリューがアウタースリーブ溝にはまっていること)を確認する。(図13c)

注意

- セットスクリューを緩めた後にアウターイントロデューサーが回せる場合はセットスクリューの緩め過ぎです。その際は、再度セットスクリューを締め直して同様の確認を行って下さい。
- 位置決めピンが固着して取り外せない場合があります。その際は取り外し用スパナを使用して下さい。

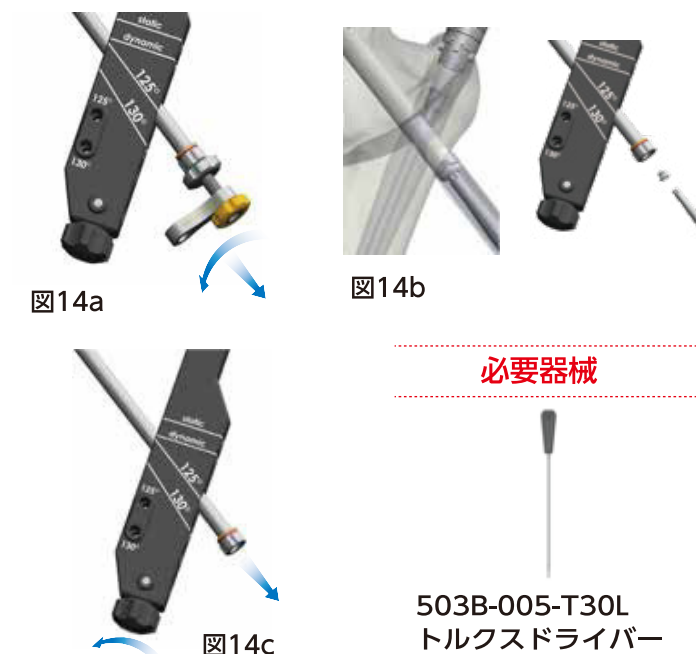


14.フックピンキャップの取り付け

ロックスリーブを反時計回りに回しロックスリーブを外す。その後、アウターイントロデューサーを引き抜く。(図14a)
トルクスドライバーにてフックピンキャップをイントロデューサースリーブ越しにフックピンの尾部に回し付ける。(図14b)
その後、ターゲットデバイスの固定用ノブを反時計回りに回しイントロデューサースリーブを外す。(14c)

注意

- ロックスリーブが固着して取り外せない場合があります。その際は取り外し用スパナを使用して下さい。
- フックピンキャップを使用し、軟部組織や骨の進入を防止する措置を必ず行ってください。インプラントが抜去不能になる恐れがあります。



15.遠位ドリリング準備

緑色の手術器械による操作

器械的ポイント

- ドリルガイドスリーブはディスタールスクリュースリーブとねじで連結し、トロカールはドリルガイドスリーブに押し込むことで連結します。
- Static固定とdynamic固定の選択に合わせて、連結したスリーブをターゲットデバイスの適切なホールに挿入して下さい。

ディスタールスクリュースリーブ、ドリルガイドスリーブ、トロカールを連結しターゲットデバイスに挿入する。(図15a)
トロカール先端が外側皮質骨面に当たるまで押し進めた後、トロカールを外す。(図15b)
再度ドリルガイドスリーブが外側皮質骨面に当たるまで押しつけた後、ターゲットデバイスの固定用ノブを時計回りに回しディスタールスクリュースリーブをターゲットデバイスに固定する。(図15c)



16.遠位ドリリング、スクリューサイズ決定

緑色の手術器械による操作

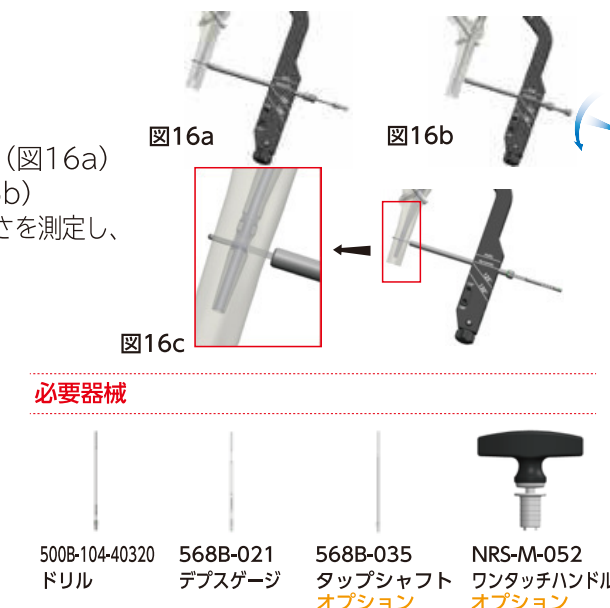
ドリルガイドスリーブ越しにドリルを用いてドリリングする。(図16a)
その後ドリルガイドスリーブを反時計回りに回し外す。(図16b)
ディスタールスクリュースリーブ越しにデプスゲージにて骨孔の長さを測定し、ディスタールスクリューの全長を決定する。(図16c)

器械的ポイント

- デプスゲージは15の手技で決定したディスタールスクリュースリーブの位置を基準に測定するため、ディスタールスクリュースリーブの当て直しは不要です。

オプション手技

- 骨質が硬い場合はタップシャフトとワンタッチハンドルを組み立ててタップを使用することが可能です。



17. ディスタールスクリュー挿入

緑色の手術器械による操作

ディスタールスクリュースリーブ越しにディスタールスクリューを挿入する。(図17a)
その後、ターゲットデバイスの固定用ノブを反時計回りに回しディスタールスクリュースリーブを取り外す。(図17b)

図17a

図17b

必要器械

503B-005-T30L
トルクスドライバー

18. ターゲットデバイス取り外し

六角ドライバーを用いてネイル保持スクリューを取り外し、ターゲットデバイスをネイルから取り外す。(図18)

器械的ポイント

- 六角ドライバー先端がネイル保持スクリューに確実に挿入されてからドライバーを回してください。

図18

必要器械

503B-007-080
六角ドライバー

19. エンドキャップの設置

トルクスドライバーを用いてエンドキャップを取り付ける。(図19)

器械的ポイント

- エンドキャップは0mm、+5mm、+10mm、+15mmから選択できます。

注意

- エンドキャップを使用し、軟部組織や骨の進入を防止する措置を必ず行ってください。インプラントが抜去不能になる恐れがあります。

図19

必要器械

503B-005-T30L
トルクスドライバー

20. 設置完了

閉創し器械類を規定の場所に収納して手術を終了する。(図20)

器械的ポイント

- 器械類の収納は「インプラント・器械一覧」のページを参照して下さい。

図20

[抜 去 方 法]

1. エンドキャップの抜去

トルクスドライバーを用いてエンドキャップを抜去する。(図1)

器械的ポイント

- トルクスドライバー先端がエンドキャップに確実に挿入されてからドライバーを回してください。

図1

必要器械

503B-005-T30L
トルクスドライバー

2. セットスクリューを締め付ける

トルクスドライバーを用いてセットスクリューを締め付ける。(図2)

注意

- 後の操作でフックピンが動かないようにする必要がありますため、必ず行って下さい。

器械的ポイント

- トルクスドライバー先端がエンドキャップに確実に挿入されてからドライバーを回してください。

図2

必要器械

503B-005-T30L
トルクスドライバー

3. フックピンキャップの抜去

トルクスドライバーを用いてフックピンキャップを抜去する。(図3)

器械的ポイント

- トルクスドライバー先端がフックピンキャップに確実に挿入されてからドライバーを回してください。

図3

必要器械

503B-005-T30L
トルクスドライバー

4.フックの抜去

フックピンのフック部分にインナーインパクターを連結し、インナーインパクターにスライディングガイド、スライディングハンマーを取り付けフック部分のみを抜去する。(図4)

注意

- インナーインパクターの連結が不十分だと折損に繋がる可能性があるため、インナーインパクターが着座した感触があるまで確実に螺合して下さい。
- フック部のみをフックピンから引き抜く際、引き抜かれたフックで怪我をしないよう十分注意して下さい。

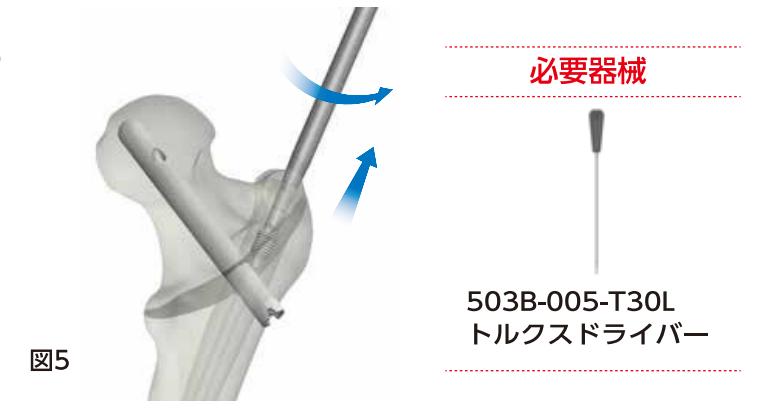


5.セットスクリューを緩める

トルクスドライバーを用いてセットスクリューを緩める。(図5)

器械的ポイント

- トルクスドライバー先端がセットスクリューに確実に挿入されてからドライバーを回して下さい。



6.フックピンの抜去

フックピンにフックピン抜去器を連結する。その後フックピン抜去器にスライディングガイド、スライディングハンマーを取り付けフックピンを抜去する。(図6)

注意

- フックピン抜去器の連結が不十分だと折損に繋がる可能性があるため、フックピン抜去器が着座した感触があるまで確実に螺合して下さい。

器械的ポイント

- フックピン抜去器がフックピンに確実に挿入されてから抜去の操作を行って下さい。

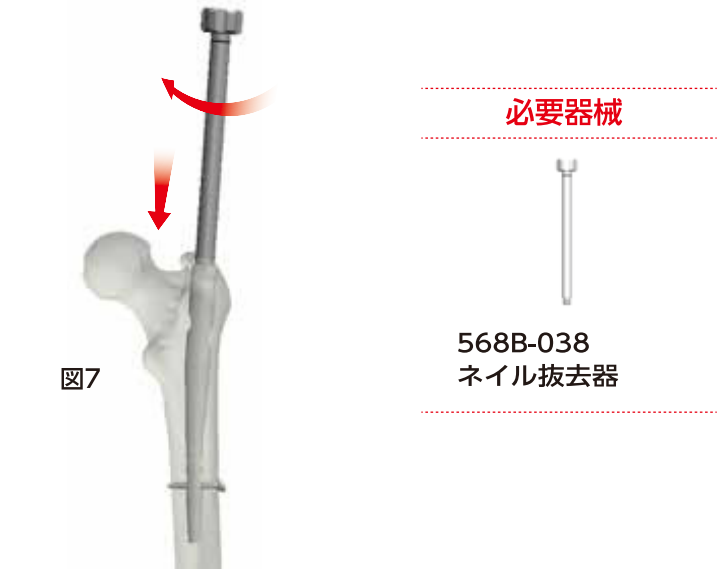


7.ネイル抜去器の取り付け

ネイル抜去器をネイルに取り付ける。(図7)

器械的ポイント

- ネイルの回旋を考慮しディスタールスクリューを抜去する前にネイル抜去器を取り付けて下さい。

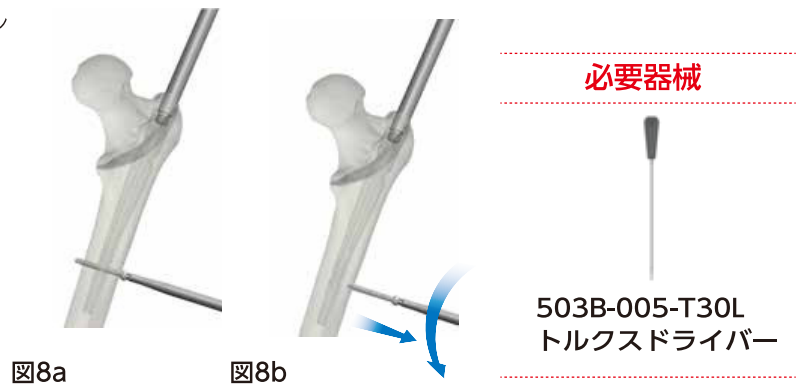


8.ディスタールスクリューの抜去

トルクスドライバーを用いてディスタールスクリューを抜去する。(図8a、8b)

器械的ポイント

- トルクスドライバー先端がディスタールスクリューに確実に挿入されてからドライバーを回して下さい。



9.ネイル本体の抜去

ネイル抜去器にスライディングガイド、スライディングハンマーを取り付けネイルを抜去する。(図9)

注意

- ネイル抜去器の連結が不十分だと折損に繋がる可能性があるため、ネイル抜去器が着座した感触があるまで確実に螺合して下さい。

器械的ポイント

- ネイル抜去器がネイルに確実に挿入されてから抜去の操作を行って下さい。



[インプラント／器械一覧]

【インプラント】

ネイル



カタログ番号	規格
M068A-125-1510	全長:170mm、角度:125°、遠位径:10mm
M068A-125-1512	全長:170mm、角度:125°、遠位径:12mm
M068A-130-1510	全長:170mm、角度:130°、遠位径:10mm
M068A-130-1512	全長:170mm、角度:130°、遠位径:12mm

セットスクリュー



カタログ番号	規格
M068A-050	全長:15mm、トルクスサイズ:T30

フックピン



カタログ番号	規格
M068A-020-070	全長:70mm
M068A-020-075	全長:75mm
M068A-020-080	全長:80mm
M068A-020-085	全長:85mm
M068A-020-090	全長:90mm
M068A-020-095	全長:95mm
M068A-020-100	全長:100mm
M068A-020-105	全長:105mm
M068A-020-110	全長:110mm

フックピンキャップ



カタログ番号	規格
M068A-070	全長:7.5mm、トルクスサイズ:T30

ディスタールスクリュー



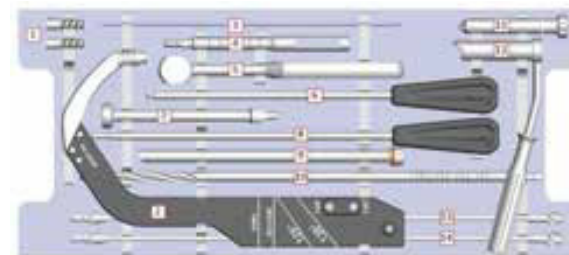
カタログ番号	規格
M068A-040-020	全長:20mm、トルクスサイズ:T30
M068A-040-025	全長:25mm、トルクスサイズ:T30
M068A-040-030	全長:30mm、トルクスサイズ:T30
M068A-040-035	全長:35mm、トルクスサイズ:T30
M068A-040-040	全長:40mm、トルクスサイズ:T30
M068A-040-045	全長:45mm、トルクスサイズ:T30
M068A-040-050	全長:50mm、トルクスサイズ:T30

エンドキャップ



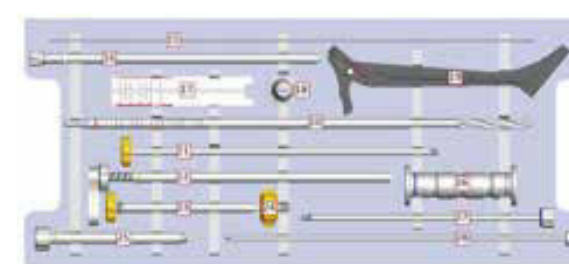
カタログ番号	規格
M068A-060-000	全長:18.2mm、トルクスサイズ:T30
M068A-060-005	全長:23.2mm、頭部高さ:5mm、トルクスサイズ:T30
M068A-060-010	全長:28.2mm、頭部高さ:10mm、トルクスサイズ:T30
M068A-060-015	全長:33.2mm、頭部高さ:15mm、トルクスサイズ:T30

【手術器械/上段トレイ】



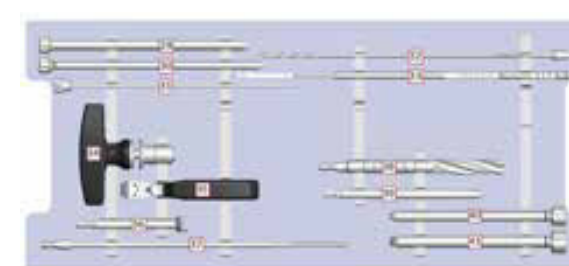
番号	カタログ番号	製品名	数量
1	568B-012	ネイル保持スクリュー	2
2	568B-011	ターゲットデバイス	1
3	003A-014-28300	ガイドピン	3
4	568B-005-155	クラウンリーマ	1
5	568B-014	スロット付きマレット	1
6	503B-007-080	六角ドライバー	1
7	568B-037	ネイル打込器	1
8	503B-005-T30L	トルクスドライバー	1
9	568B-017	イントロデューサスリーブ	1
10	568B-023-104BACKUP	フックピンドリル(バックアップ用)	1
11	568B-007	マルチホールトロカール	1
12	568B-008	リーマスリーブ	1
13	568B-004-12	フレキシブルリーマ	1
14	568B-004-14	フレキシブルリーマ	1

【手術器械/中段トレイ】



番号	カタログ番号	製品名	数量
15	003A-019-28480	ガイドピン	3
16	568B-018	ガイドピンスリーブ	1
17	568B-022	フックピンルーラー	1
18	568B-036	フックピンドリルストップパ	1
19	568B-015	ターゲットガイド	1
20	568B-023-104460	フックピンドリル	1
21	568B-026	ロックスリーブ	1
22	568B-024	アウターイントロデューサー	1
23	568B-025	位置決めピン	1
24	568B-010	ターゲットデバイスノブ	1
25	568B-031	フックピン打込器	1
26	568B-033	スライディングハンマー	1
27	568B-034	スライディングガイド	1
28	568B-027	インナーインパクト	1

【手術器械/下段トレイ】



番号	カタログ番号	製品名	数量
29	568B-028	ディスタールスクリュースリーブ	1
30	568B-029	ドリルガイドスリーブ	1
31	568B-030	トロカール	1
32	500B-104-40320	4.0mmドリル	2
33	568B-021	デプスゲージ	1
34	NRS-M-052	ワンタッチハンドル	1
35	568B-003	ガイドワイヤハンドル	1
36	568B-009	プッシャーシャフト	1
37	568B-035	タップシャフト	1
38	568B-006-155	ワンステップユニカルリーマ	1
39	568B-001	オウルシャフト	1
40	568B-032	フックピン抜去器	1
41	568B-038	ネイル抜去器	1

オプション品

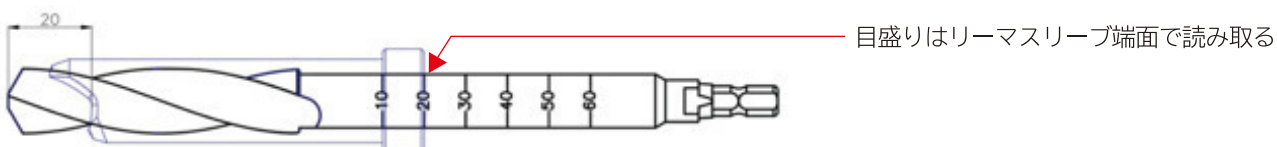
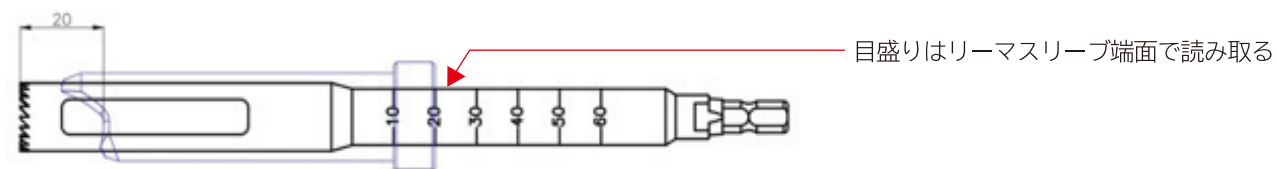
【手術器械/個別トレイ】



番号	カタログ番号	製品名	数量
42	568B-150-3	取り外し用スパナ	1
43	568B-150-4	取り外し用スパナ	1

[器械類に付加された目盛りの説明]

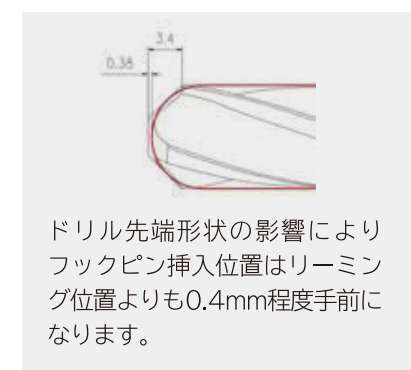
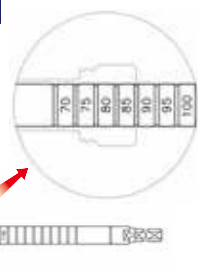
【クラウンリーマ、ワンステップコニカルリーマの目盛り】



目盛りはリーミング深さの目安となっています

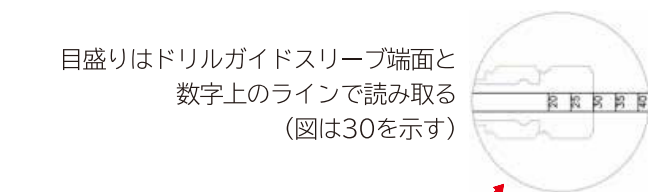
【フックピンドリルの目盛り】

目盛りはイントロデューサスリーブ端面と数字上のラインで読み取る(図は90を示す)

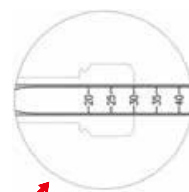


【ドリル、デプスゲージの目盛り】

目盛りはドリルガイドスリーブ端面と
数字上のラインで読み取る
(図は30を示す)



目盛りはディスタール
スクリースリーブ端面で
読み取る

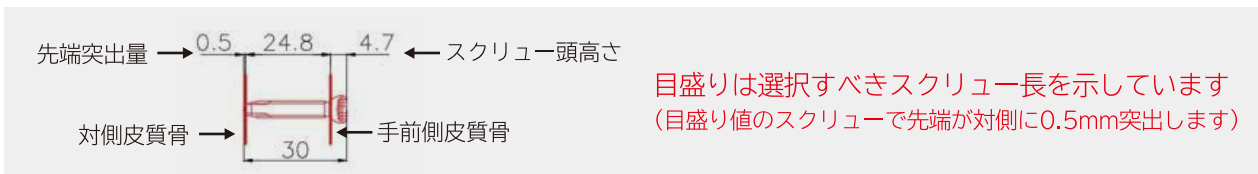


計測基準はデプスの
フック部となっています



ドリルガイドスリーブを抜くとディスタールスクリースリーブは骨面から3.5mmはなれた位置となりますがその分を加味した測定値としています。

～デプスゲージの読み値が30で30mmのディスタールスクリューを選択したとき設置状況～

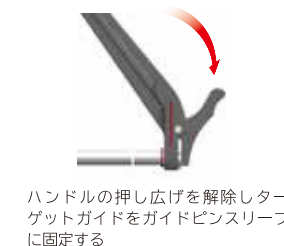
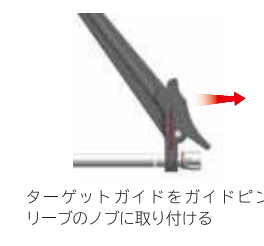
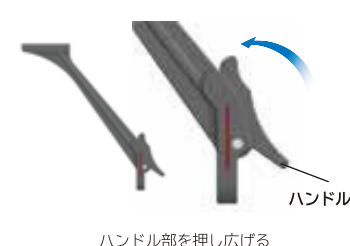


[オプション器械の説明]

【ガイドワイヤハンドル(568B-003)の操作方法】



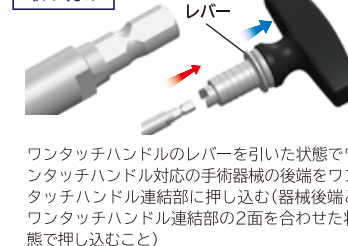
【ターゲットガイド (568B-015) の装着方法】



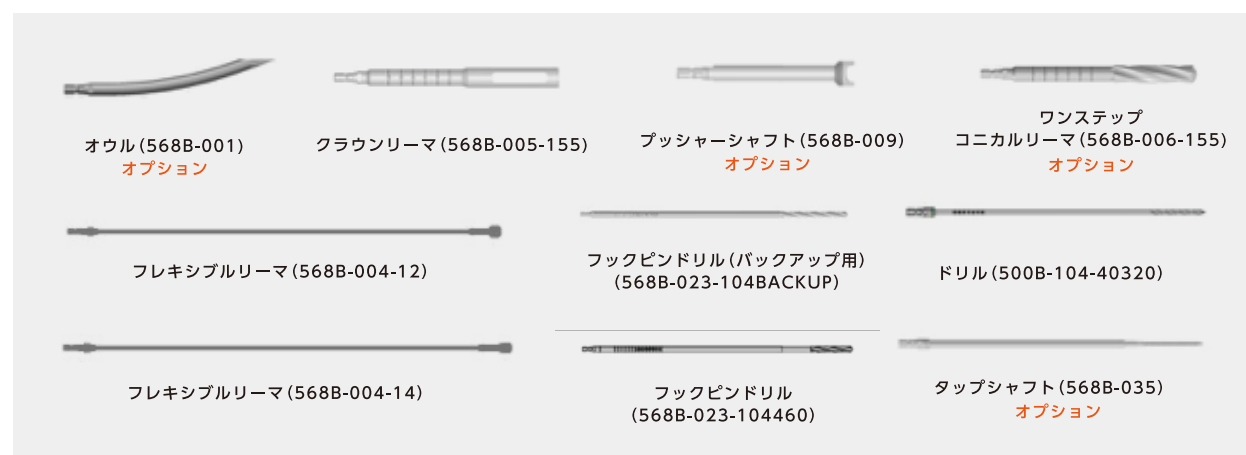
【フックピンドリルストoppa(568B-036)の着脱方法】



【ワンタッチハンドル(NRS-M-052)の操作方法】



—ワンタッチハンドル対応手術器械—

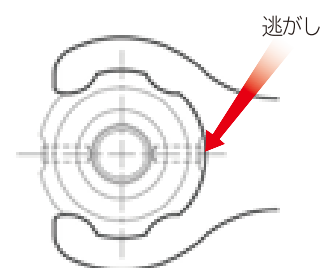


[取り外し用スパナの使用手法]

【使用目的と注意事項】

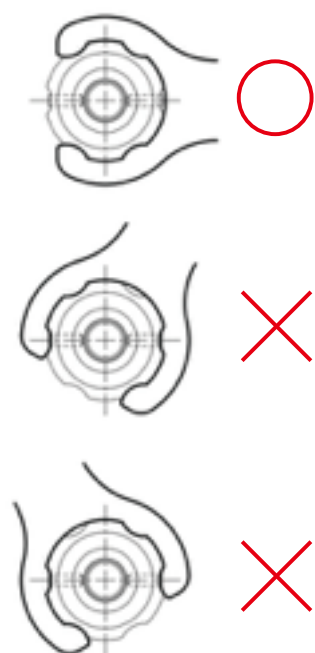
徒手的に締付けたねじ部が緩まなくなった場合に、連結を解除するために使用します。
 (通常の手技では必要ありません)
 取り外し(連結解除)専用の器械です。ねじ部の締め付けには絶対に使用しないで下さい。
 (器械が破損し、オペが中止になる危険性があります。)

【操作方法】

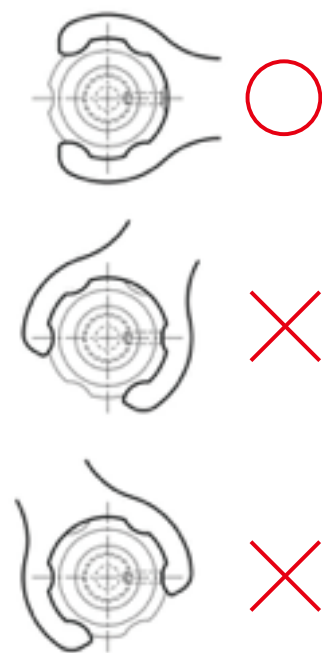


568B-010、568B-025、568B-026はノブ表面にかしめピンの突出があるためスパナの一部に逃がしをもうけています。568B-010、568B-025、568B-026に取り外し用スパナを取り付ける場合はピン突出部がスパナに干渉しない位置に取り付けるようにしてください。

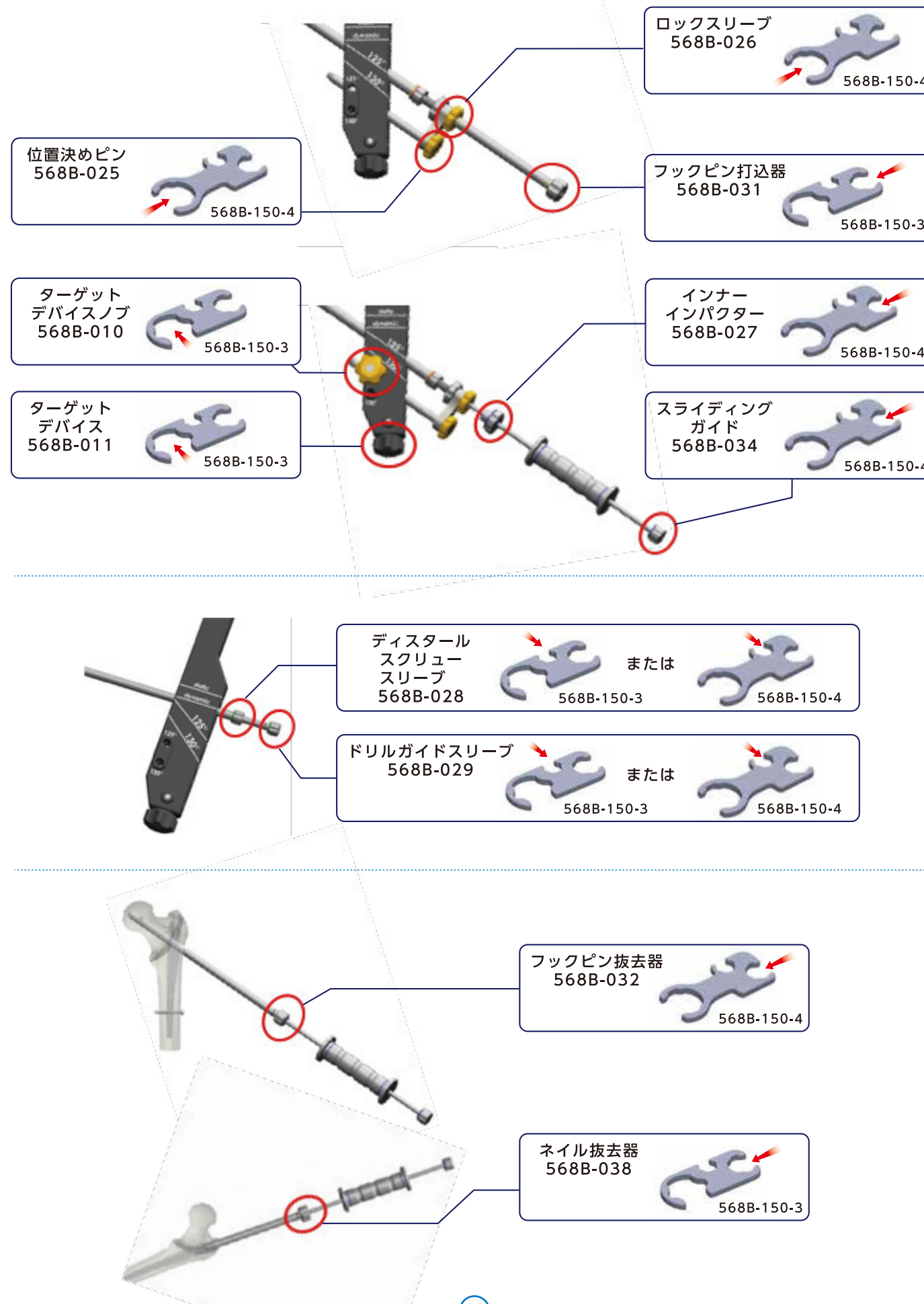
568B-026の取り付け位置



568B-026の取り付け位置



【手術器械と対応溝】



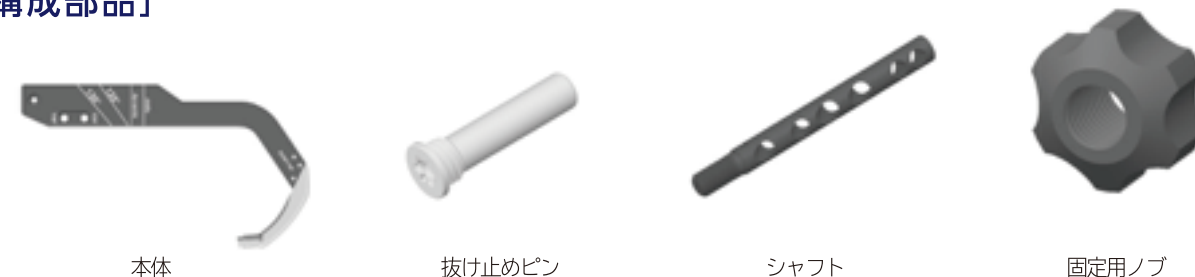
〔使用上の注意〕

【器械類の洗浄方法】

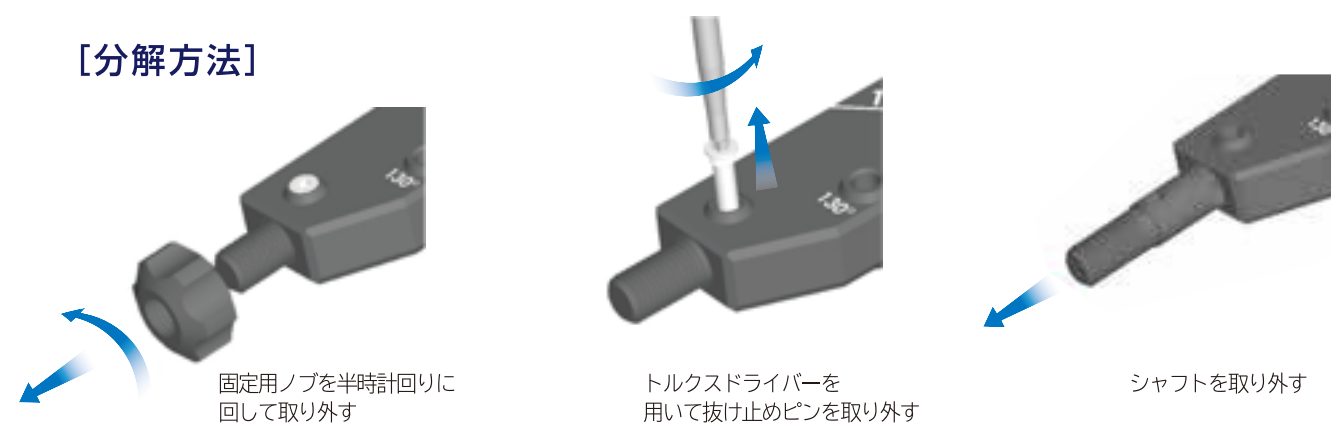
- A4添付文書 【保守・点検に係る事項】 の記載事項を確認のうえ保守、運用して下さい。
- ターゲットデバイス(568B-011)を除き器械の分解はしないで下さい。ゴムの取り付けられた器械(マルチホールトロカール(568B-007)、ガイドピンスリーブ(568B-018)はゴムを取り外さないよう注意して下さい。
- ターゲットデバイスは4部品に分解して洗浄して下さい。洗浄後はシャフトの方向に注意して組み立てて下さい。分解、組み立ての手順については下記【ターゲットデバイス(568B-011)の分解・組み立て】を参照して下さい。

ーターゲットデバイス(568B-011)の分解・組み立てー

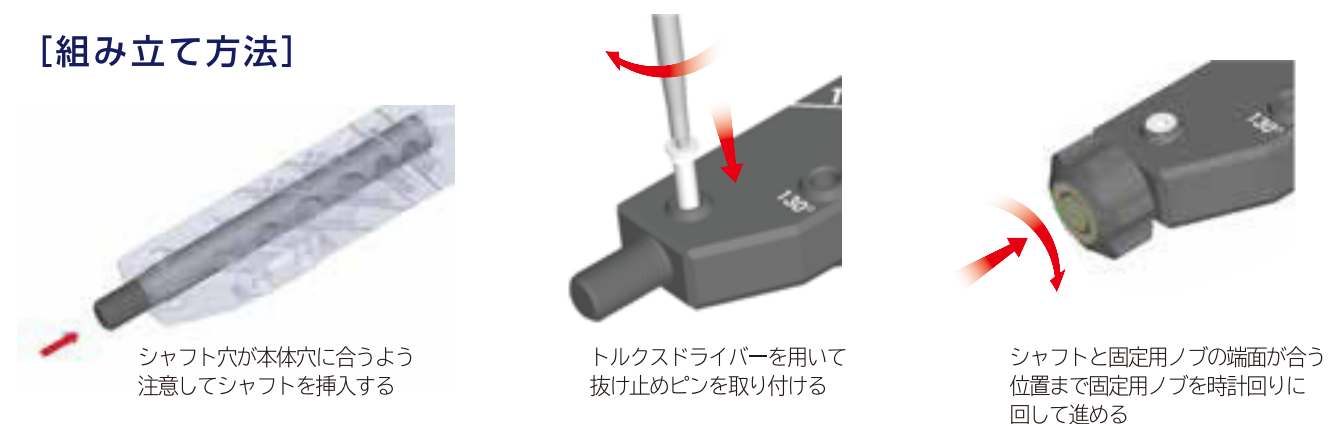
【構成部品】



【分解方法】



【組み立て方法】



【手術器械の日常点検項目】

- 器械の破損(変形や割れ)等がないか目視で確認して下さい。
- 器械に識別色が付いているものは、色が剥がれ落ちていないか確認して下さい。
- ドリル等の先端及び刃部に磨耗等の変形がないことを確認して下さい。
磨耗が大きいとドリルの切れが悪くなり、リーミングに時間を要したり穴をあけられない可能性があります。

【その他】

- 下記品目の添付文書記載事項をご確認のうえ、正しく使用してください。

メイラフックピンネイル

高度管理医療機器 体内固定用大腿骨髄内釘(承認番号:22800BZX00215000)

メイラフックピンネイル器械セット

一般医療機器 骨手術用器械(届出番号:21B1X00003000306)

製造販売業者

 **メイラ 株式会社**

TEL 0575-24-7059

製造業者

メイラ株式会社

問い合わせ先

メイラ株式会社 メディカル事業部 営業部 業務課
TEL 052-459-1277 (直通) / FAX 052-459-1282

